

宝塚市子どもの権利サポート委員会 令和6年度 活動報告

宝塚市子どもの権利サポート委員会
サポート委員
松尾 隆寛

1

2025年8月9日(土)

宝塚市子どもの権利サポート委員会について

宝塚市子どもの権利サポート委員会とは

- 子どもの権利サポート委員会は、行政機関からの独立性が確保され、子どもの権利救済を図るため、第三者的に子どもに寄り添う専門機関です。
- 子どもの気持ちを早期に受け止め、相談に応じるだけでなく、子どもの最善の利益を実現していくことを目的とし、関係機関との調整を行ったり、救済の申立て等により調査したり、関係機関への協力や改善を求めています。
- 子ども自身が本来持っている力を十分に発揮できるよう支援を行います。

相談・救済の流れ

- ・最初に相談員がお話をお聴きします。じっくり傾聴し、一緒に考えていきます。相談者が自力でできることを考えたり、納得することで、相談を終えるケースもあります。
- ・相談者には、悩み事があれば、いつでも、何度でもお話を聴かせてほしいことを伝えることで、今後も一緒に考えていく姿勢でお話しをお聴きします。
- ・相談内容を相談員と子どもの権利サポート委員で共有し、相談者の意向に寄り添った支援への助言や、あるいは委員が直接相談者と面談を行ったのち、必要に応じて調整活動等を行います。
- ・子どもの権利サポート委員は、子どもが希望する場合は、問題に関わる人々や関係機関に対して、子どもの気持ちや意見を代弁します。子ども自身のために、関係機関の協力を得て、働きかけ、調整活動を行います。
- ・当事者等からの申立てにより、必要に応じて調査を実施し、改善の要望や意見表明などを行います。

令和6年度のサポート委員会での相談内容

月別相談件数

新規

延べ数

20

50

15

40

10

30

5

20

0

0

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

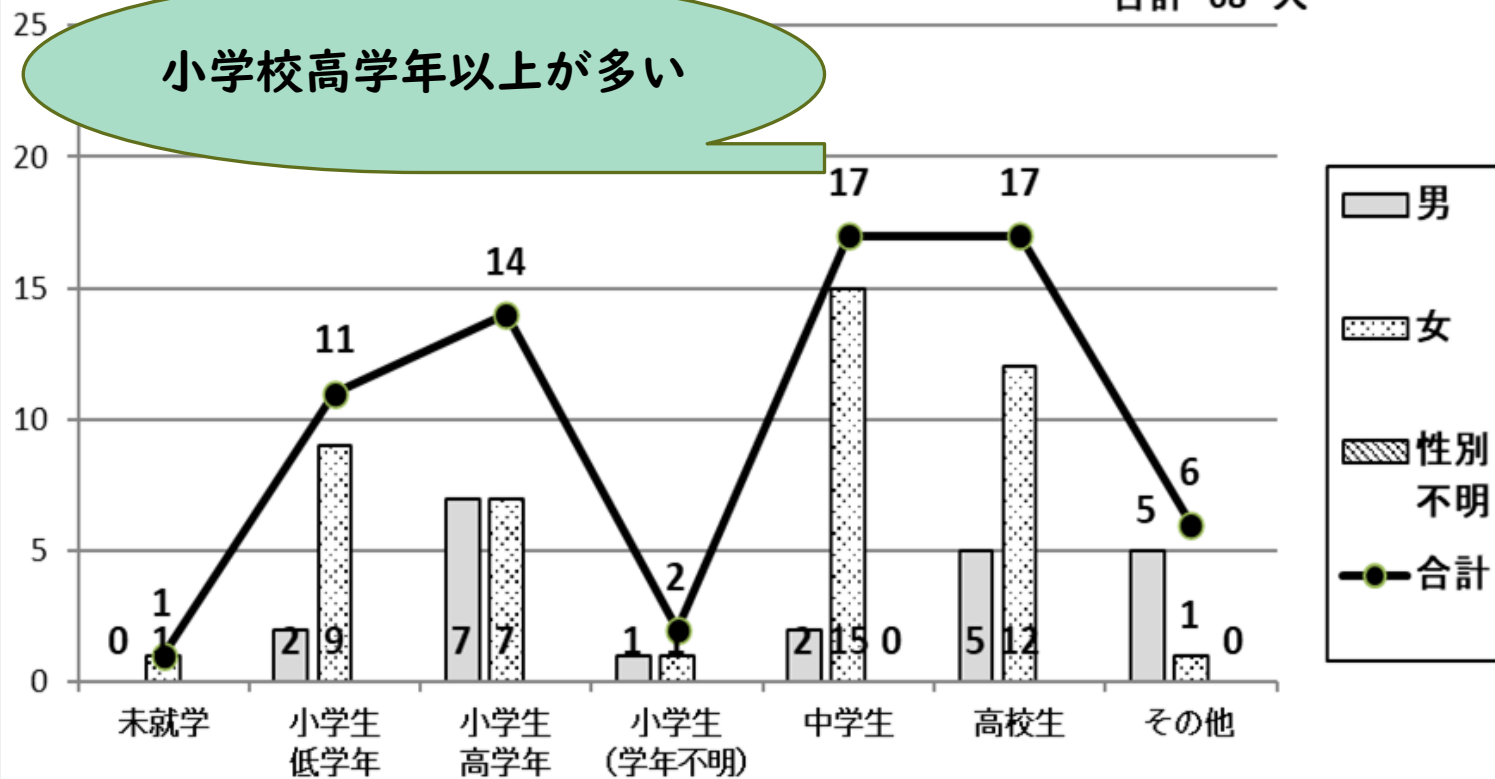
6月・9月・1月におたよりを配布

■ 新規	4	3	11	11	6	7	3	4	8	7	1	3
新規%	6%	4%	16%	16%	9%	10%	4%	6%	12%	10%	1%	4%
● 延べ数	19	12	32	20	11	13	10	17	33	39	34	21
延べ数%	7%	5%	12%	8%	4%	5%	4%	7%	13%	15%	13%	8%

新規 68 件
延べ数261件
(昨年度からの継続7件)

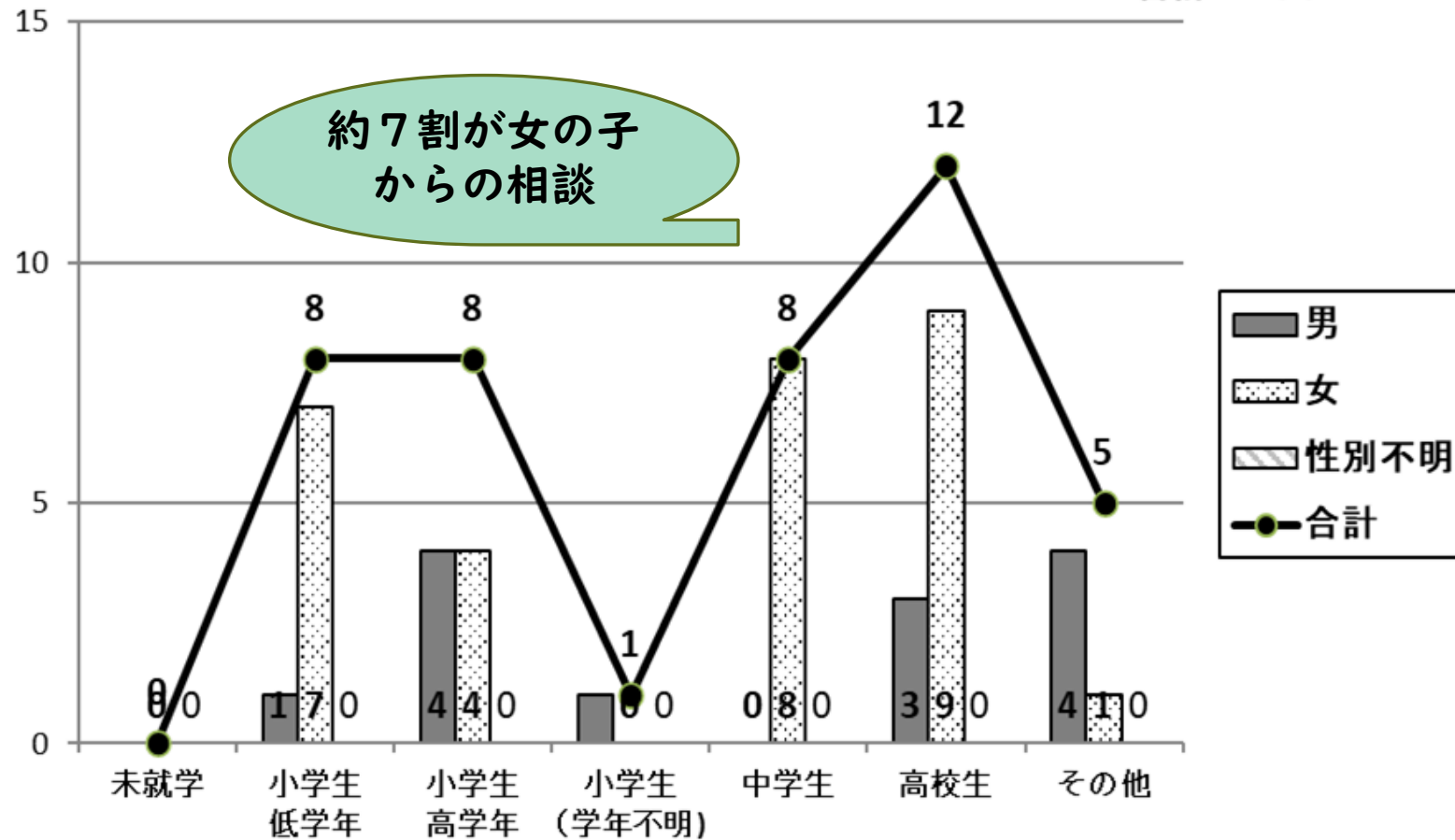
新規相談対象者の内訳

合計 68 人



初回相談者が子どもの場合の内訳

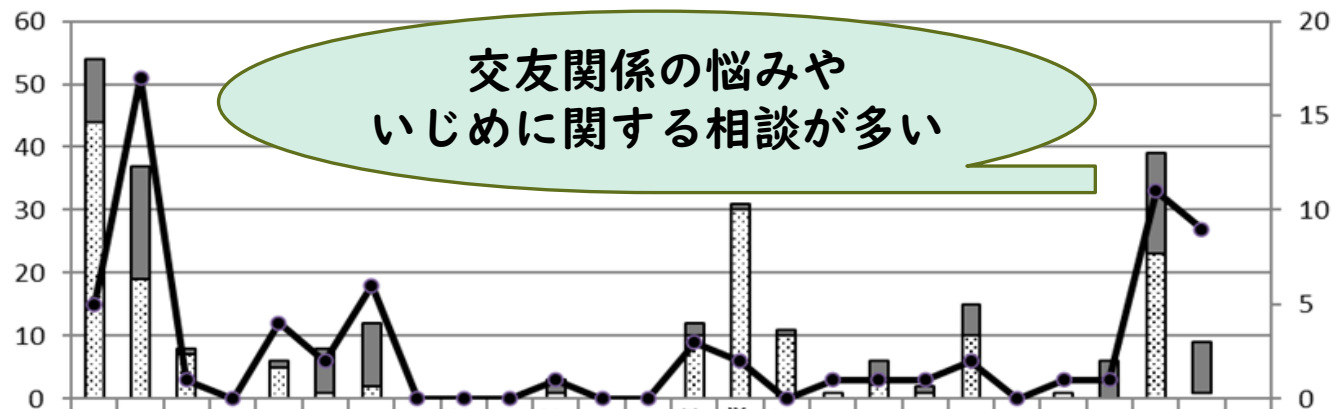
合計 42 人



延べ数

相談内容の内訳

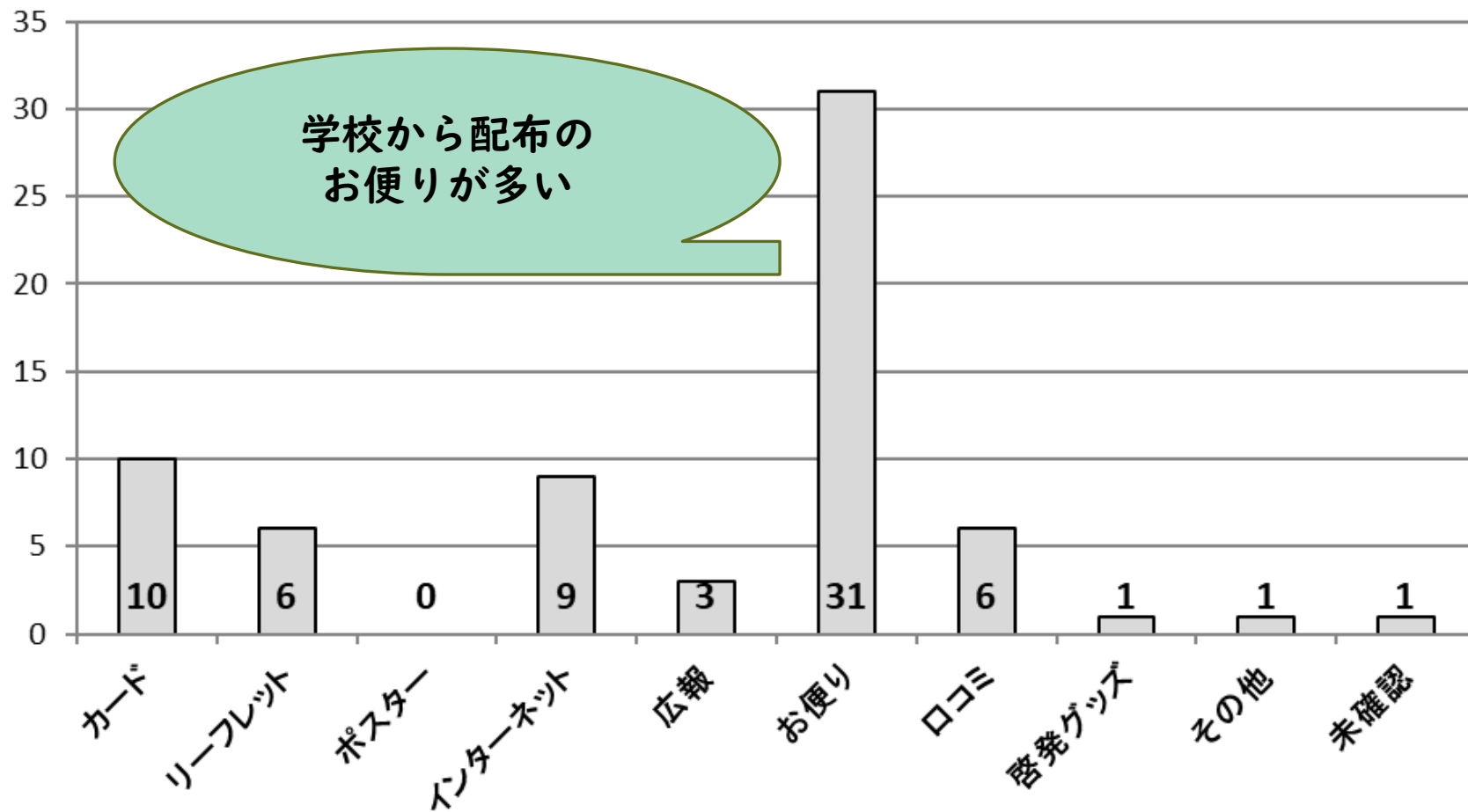
新規相談



子ども(延べ数)	10	18	1	0	1	7	10	0	0	0	2	0	0	2	1	1	0	3	1	5	0	0	6	16	8	92
大人(延べ数)	44	19	7	0	5	1	2	0	0	0	1	0	0	10	30	10	1	3	1	10	0	1	0	23	1	169
延べ数合計	54	37	8	0	6	8	12	0	0	0	3	0	0	12	31	11	1	6	2	15	0	1	6	39	9	261
新規相談数	5	17	1	0	4	2	6	0	0	0	1	0	0	3	2	0	1	1	1	2	0	1	1	11	9	68

新規相談に至ったきっかけ

合計 68 件



啓発活動について

周知用ダイヤルカード

お便りと一緒に配布

こんなとき…話してね。

ちょっと話したい
困った、おこられた
いじめにあった
友達とけんかした
しんどい、つらい
どうしよう…

お電話でも来てくれてもいいよ！
何でもお話してね。
子どもの気持ちを大切にします。

相談電話（無料）
0120-931-170
（平日・土日祝日）

ひみつはまもります

宝塚市
子どもの権利
サポート委員会
(子どもの悩み相談)

どんなお話でもいいよ

あいている日と時間
月～金曜日 13時～19時
土曜日、第1・3火曜日
10時～17時
年末年始、日・祝日はお休みです。

宝塚市
プレミラ宝塚2階
(売布東の町12-8)

小学生用

あなたの気持ちを
大切にします

友だち、学校、家族、進路のことで、
不安だ、困ったなあ、いやだなあ、
友だちが悩んでいて心配だな、
どうしたらいいかわからない、
だれにも言えない…

こんなとき相談してね！

お話してみませんか？
待っています

電話 来所 手紙

宝塚市
子どもの権利サポート委員会(子どもの悩み相談)

秘密は守ります
お金はかかりません

宝塚市
子どもの権利サポート委員会

●電話相談
0120-931-170
月～金曜日 13時～19時
土曜日、第1・3火曜日
10時～17時
(日祝・年末年始休み)

●来所相談
場所：プレミラ宝塚2階
阪急宝塚駅南口・中山駅南口から歩いて
10分。
阪急バス福祉コミュニティプラザ前下車すぐ。
1階受付で「相談に来た」と伝えてください。

●手紙相談(手紙に書いて送ってね)
お返事希望の場合は住所と名前を書いてね
〒665-0857
宝塚市売布東の町12番8号プレミラ宝塚2階
宝塚市子どもの権利サポート委員会 へ

秘密は守ります

中学生・高校生用

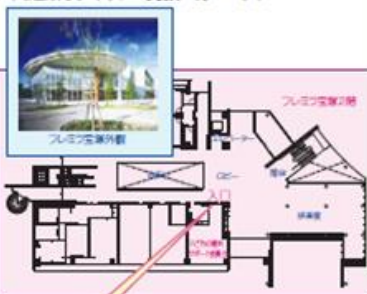
周知用リーフレット（おもて）

宝塚市

子どもの権利サポート委員会とは

「宝塚市子どもの権利サポート委員会」は、宝塚市子どもの権利サポート委員会条例により、行政機関からの独立性が確保され子どもの権利救済を図るために設置された第三者的に子どもに寄り添う専門機関です。

宝塚市内在住・在学・在勤の18歳未満の子ども及び18歳未満の子どもが通学等できる施設（高等学校、高等専門学校等）に通う19歳までの者を対象とし、子どもの気持ちを早期に受け止め、相談に応じるだけでなく、子どもの最善の利益を実現していくことを目的とし、関係機関との調整を行ったり、救済の申立て等により、調査したり、関係機関への協力や改善を求めています。子ども自身が本来持っている力を十分に発揮できるよう、問題解決に向けた支援を行います。



子どもの権利サポート委員会

気軽に
入ってきてね。

相談するには？

電話をする

0120-931-170

携帯・公衆電話からも無料です

会って話をする

直接相談室に来てください。

あなたの近くに出かけて行くこともできます。

手紙を書く

手紙での相談は下記住所まで送ってください。

（くわしくはホームページにて）

対象となる人

○宝塚市内在住・在学・在勤の18歳未満の子ども

○18歳未満の子どもが通学等できる高校等に通う

19歳までの人

○子どもの相談はどなたからでもできます

相談できる曜日と時間

月曜～金曜：昼1時から夜7時まで

土曜と第1・3火曜：朝10時から夕方5時まで

（日曜・祝日・年末年始はお休みです）

場所

フレミラ宝塚2階

〒665-0867 宝塚市売布束の町12番8号

阪急電鉄売布束駅・中山駅南口から歩いて10分

阪急バス福祉コミュニティプラザ前下車すぐ



宝塚市

子どもの権利 サポート委員会



相談電話（無料）
携帯・公衆電話OK

0120-931-170

宝塚市子どもの権利サポート委員会



周知用リーフレット（うら）



学校から配布いただいている
子どもの権利サポート委員会
からのおたより

長期休暇期間後
に配布

相談へのきっかけ



こ け ん り さ ぽ ー と い い ん かい 子どもの権利サポート委員会だより

～2025年1月発行 第30号 たかラッコクラブ誕生記念～
小学校1,2年生版



あ 明けましておめでとうございます！！あつという間に冬休みが終わりましたね。みなさんはど
な冬休みをすごしましたか？もし困ったこと、聞いてほしいことがあったら、ひとりてなやまず、
子どもの権利サポート委員会にお話してくださいね。



【お話をはじめるときの言葉】

～わかってほしい気持ちを伝える～

みなさんは、お話をはじめるとき、どんな言葉か
らはじめていますか？
おうちの人やともだちに気持ちを伝えるときは、分
かりやすく伝えたいですね。

たとえば、
○お話を聞いてほしいとき
「ちょっと聞いてほしいことがあるんだけど、...」
○イヤなことがあったとき
「今日、イヤなことがあったんだけど、聞いてく
れる？」

わかってほしいこと、伝えたいことがあるときに
は、つかってみてください♪

愛称が決まりました！！

子どもの権利サポート委員会10周年を記念
して、「愛称（ニックネーム）」を募集してお
りました。宝塚市に住む子どもたちからの投票の
結果、ついに決まりました！！

愛称（ニックネーム）：『たかラッコクラブ』
名付け親：野瀬 理功さん
由来：ラッコは眠るとき、波に流されてはぐれな
いよう、仲間と手をつないで寝ます。
ラッコのように「人」人としてしっかり手をつ
なげるよう願いをこめました。

子どもの権利サポート委員会にピッタリな
愛称（ニックネーム）をつけていただき、あ
りがとうございます。

これから、たくさんの場面で『たかラッコ
クラブ』と呼んでくれたらとてもうれしいで
す（＾＾）



ひみつは
まもります



☎ 0120-931-170

住所：〒665-0867

月～金曜日 13時～19時
土曜日 第1・3火曜日 10時～17時
宝塚市売布東の町12番8号プレミア宝塚2階
子どもの権利サポート委員会（来所も OK です）

※保護者の方等のご相談もお受けしていますが、解決の主体は「子ども」であることをご説明し、
サポート委員会が直接子どもの話をお聴きしたいということをお伝えしています。



子どもの権利サポート委員会の10周年を記念して、委員会の愛称
(ニックネーム) を募集

たくさんの応募があり、
投票の結果
「たかラッコクラブ」
に決定しました。



～この愛称の由来～

ラッコは眠るとき波に流されてはぐれないよう、仲間と手をつないで寝ます。だから、ラッコのように一人一人としっかり手をつなげるようお願いをこめました。あと、宝塚の「宝」を使っています。